

○事業所名	放課後等デイサービス ポピー伊川谷南			
○保護者評価実施期間	7年 3月 1日		～	7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	7年 3月 15日		～	7年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	7 年 3 月 29 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の支援については、人として大切な事を大事にし、職員が 一丸となって細やかにサポート出来るよう力を入れている。	児童の支援方法やニーズ、問題点など細かく共有し、保護者様 や学校とも連絡を取りながら児童の健やかな成長を願い生活ス キル、気持ちの安定、マナーや社会性を軸に様々な角度からア プローチして取り組んでいる。	なかなか時間が取れないが、学校や併用事業所との連絡会議 を実施し、より指針のはっきりした支援を提供できるよう工 夫をしていきたいと考えている。
2	長年積み重ねた経験とプログラムを駆使し、家庭的な雰囲気 で児童が安心して楽しく過ごすことができる場所を提供できるこ と。	同法人内の事業所とも情報共有し、良いと思われる取り組みは 積極的に取り入れ、他所にもフィードバックできるようにして いる。	長年続けていくことで起こるマンネリ化を防止し、常に視野 を広げ、時代の流れや新しい考え方を取り入れられるよう柔軟 な姿勢を持つようにしたいと考えている。
3	児童の支援については、職員間での共有を密にし、方針や目 的、方法など皆が同じ方向を向いて実施できるよう心掛けてい る。	児童の支援方法やニーズ、問題点など細かく共有するようにそ の場になかった職員にも知ってもらうよう、連絡ノートの活 用、療育予定表への記載、ホワイトボードを活用し支援にあた る皆が共有できるよう工夫している。	なかなか時間が取れないが、学校や併用事業所との連絡会議 を実施し、より指針のはっきりした支援を提供できるよう工 夫をしていきたいと考えている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者会などの組織がない。	父母の会は組織されておらず、コロナ禍以降、交流会など集ま る行事が実施されていない状況である。	今後保護者の皆さまからニーズを伺いながら何らかの形で交 流の場や相談できる場を設けていきたいと考えている。ま た、気軽に集える茶話会やサロンのような形式で交流を持つ 事から始めてみたいと考えている。
2	地域との関わり、児童館や放課後児童クラブとの関わりが薄 い。	安全面や個人情報を考慮し、児童館や放課後児童クラブとの交 流は実現していない。また地域に向けたイベントの企画もして いない。	安全面や個人情報の観点から考えると実施が難しいこともあ るため、できるだけ地域のイベント等にでかけたり、公園な どであった時には、声掛けや一緒にの遊具で遊ぶなど地域と のつながりを感じることができるよう取り組みを考えてい きたい。
3	保護者の研修やペアレントトレーニングの講座の実施がない。	ペアレントトレーニングの講座や研修は開催していない。体系 化されたペアレントトレーニングについてを講義できるマンバ ワーの確保が難しい。	職員が講習にでかけるなどして、伝達研修の形をとったり、 また日々のやりとりの中での助言や支援方法の共有、模索す るなかで保護者に寄り添いながら支えていけるよう意識を 持って行きたいと考えている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ポピー伊川谷南

公表日

令和 7 年 3 月 31日

利用児童数

令和7年3月1日

15名

回収数

13名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	1	7	普通の子と交流会がない。	当該地域の児童館は放課後児童クラブを併設しており、多くの児童が利用している状況である。安全面を考慮し、交流を目的として児童館を訪問することは現時点では実現していない。また、公園で遊んだり、地域のイベントなどに参加する時に地域の子どもたちと関わることがある。今後は、保護者の皆さまや利用児童のニーズを伺いながら対応していきたいと考えている。
保護者への説明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	0	6	親が参加する機会がない。	現在は行政などから保護者を対象とした研修の案内があった際には、情報提供するにとどまっている。当事業所の主催するプログラムを実施するには至らず、今後は保護者の皆さまのご意見を伺いながらニーズにあったプログラムを提供できるよう考えていきたいと考えている。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	1		

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	2	7	同じ子の親同士の相談場がない。	当事業所では、保護者会や父母の会の活動は行っていない。また、コロナ禍以降、なかなか交流の機会を企画できずにいるため、ニーズを確認しながら支援につなげていきたいと考えている。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	1		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和 7 年 3 月 31日
放課後等デイサービス ポピー伊川谷南							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		外部評価が実施されているか曖昧な点があるため、早急に法人本部に確認を行い、理解を深めたいと考えている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	法人内研修は月例会議の時間帯に行うなど、全員が参加できるように工夫している。	外部の研修を受講する時間的余裕や人的余裕がないことがあり、非常勤職員への外部研修を受講する機会が乏しい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	ノートの活用、療育予定表への記載をし、全員に共有できるよう工夫している。	送迎時間が勤務終了時間近くまでかかることがある場合には、打ち合わせの時間をとる事が難しくその場で全員に共有することができない場合がある。帰着後に管理者への報告は行っており、翌朝話し合いや対応について打ち合わせを行っている。支援終了後の打ち合わせの時間を捻出できるよう工夫していきたいと考えている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		地域の児童発達支援センターとつながりができたところであるので、今後も連携を取りながら助言や研修を受けさせていただきたいと考えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		安全面や個人情報の観点から放課後児童クラブや児童館との交流は実現していない。地域の子どもたちと公園遊びなどで出会うことがあるため、どのような方法で機会を作るか検討していきたいと考えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		ペアレントトレーニングやご家族向けの研修会は行政からの情報提供をお知らせしているの留まる。今後は職員のスキルアップも含め、家族支援プログラムを保護者様のニーズを伺いながら展開できるよう工夫していきたいと考えている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		安全面の観点から事業所の行事に地域住民を招待することは行っていない。地域イベントに積極的に参加するなど、こちらかアプローチできるものには参加しながらどういった形で実現していくことができるのか考えていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		